

## お手入れ方法

- お手入れは、食器用中性洗剤を使用し、柔らかいスポンジ又はブラシでよく洗い、水気を拭き取り十分に乾燥させてください。
- 汚れや臭いが気になる場合は、次に記載の方法を守り、漂白剤で30分を目安にお手入れしてください。
- 長期間使用しない時は、汚れを十分に落とし、よく乾燥させてください。高温多湿の場所を避けて保管してください。

### 本体

○丸洗いができます。

#### 【注意】

- つけ置き洗いはしないでください。

隙間から水が侵入し、腐食や故障、保温・保冷不良の原因になります。

- 塩素系漂白剤を使用しないでください。

腐食や故障、保温・保冷不良の原因になります。



### 内容器

※内容器は下記の方法でお手入れができます。

#### 【斑点状の赤いサビが付着している場合】

水に含まれる鉄分等が付着したものです。内容器にお湯を入れ、食酢を10%程度加えて中栓・コップ・キャップユニットを取り付けずに約1時間放置後、よく洗ってください。

#### 【ザラザラしたものが付着している場合】

水に含まれるカルシウム等が付着したものです。内容器にお湯を入れ、クエン酸を10%程度加えて中栓・コップ・キャップユニットを取り付けずに約3時間放置後、よく洗ってください。

お手入れは  
中栓・コップ・  
キャップユニット  
を閉めずに!



#### 【汚れや臭いが気になる場合】

酸素系漂白剤を内容器に入れ、中栓・コップ・キャップユニットを取り付けずに約30分放置後、よく洗ってください。

### コップ・パッキン

- 丸洗いができます。
- つけ置き洗いができます。
- 塩素系・酸素系漂白剤が使用できます。(30分を目安)

【注意】お手入れ後は、各パッキンを確実に取り付けてください。

漏れの原因になります。

製品の故障・汚れを防ぐために、下記の事は必ずお守りください。  
なります。

## 中栓ご使用时

- 飲料物の保温・保冷以外の用途には使用しないでください。

- 飲料物の量は、図の位置以下にしてください。

内容器の凸面より約2cm下までが目安です。

約2cm下まで

飲料物

#### 【注意】

入れすぎると中栓を閉めた時に飲料物があふれる原因になります。又、持ち運ぶ時に漏れの原因になります。

- 熱い飲料物を入れた場合、口部・コップが熱くなりヤケドの原因になりますので注意してください。

- 中栓のボタンが「開状態」のまま、コップの取り付けを行わないでください。

漏れの原因になります。



- 本体を傾けた状態や、顔を近づけた状態で中栓のボタンを押さないでください。

勢いよく出て、ヤケドの原因になります。

- 中栓から直接飲まないでください。



- 熱湯を入れた直後は中栓のボタンが押しにくくなる場合があります。その場合は中栓をゆるめて再度閉め直した後、ボタンを押してください。